

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	身体障害者福祉協会補助事業		コード	福祉事務所障害者福祉係
			02-01-03-04	担当者 田中淳一
事業実施期間	平成17年4月1日～平成18年3月31日		電話	内線183
総合計画 事業（政策）体系	大項目	健康でやさしさあふれるまちづくり		
	中項目	やさしさあふれるまちづくり		
	小項目	障害者（児）福祉		
	施策	交流の推進と組織づくり		

事業について	
目的	身体障害者福祉協会へ活動費を助成し、団体の活動の充実を図る。
対象 (誰のために)	市内に居住する身体障害者手帳を有する人
内容	身体障害者福祉協会への活動助成金を補助する。

事業の結果	
実施項目	17年度
	回数など (単位)
会員数	500 人

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	373	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	3,255	受益者負担		人件費		受益者負担	
合計	3,628	市債		合計	0	市債		

必要人員	0.40	人
結果指標名	会員数	
結果指標量	500	
単位	人	
対前年比	—	0.00%
事業費	3,628,000	円
単位当たりコスト①	7,256	円

結果指標名	会員数	
結果指標量	500	
単位	人	
対前年比	—	0.00%
事業費		円
単位当たりコスト②		円

事業の成果			
成果指標名	会員数	式又は説明	身体障害者手帳所持者に対する会員数の割合
成果指標量	17年度		
対前年比	500		
到達目標値	—	0.00%	
	500	到達目標年度	毎年度

事務事業の評価		課題認識	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等：	
	対象の妥当性		会員の高齢化及び会員数の減少が懸念されているため、会の周知が必要である。
	市民ニーズの妥当性		
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である <input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	
	コストの効率化		
	手段の最適化		
有効性の評価	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている <input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の見解・要望が反映されやすい	
	目的達成度		
	成果向上の可能性		
市民参画度	市民参画度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している <input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある <input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

総合評価	
コメント	身体障害者の社会参加及び福祉推進に必要な事業であり、今後も助成の必要がある。 評価区分 <A~E> <b>C</b>

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度結果指標量①	500	結果指標量②	
目標値	結果指標量	500	

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	会員数の増加	19年度	活動の活発化

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。